



時代を拓き 世界に貢献する人を目指して

Global View

2017年5月13日 Newsletter 第49号 仙台白百合学園中学・高等学校 国際教育部

はじめに

国際教育部部長 柴田 瑞枝(英語科)

今年も新入生を迎え、学校は活気づいています。春休みには多くの海外研修がありました。中学2年生がニュージーランド研修でロトルアを訪ね、SGHでは台湾、ネパールでの研修が行われ、高校I、II年生がポーランド友好訪問から無事に帰国しました。

ポーランドから戻った皆さんのお迎えに仙台駅へ行った際、引率の先生から「和菓子ではありませんが、部活のみなさんで食べてください。」というメモのついたお菓子の袋を受け取りました。それは昨年3か月留学で来日して、高校茶道部に参加してくれていたポーランドの留学生からのものでした。茶道部の顧問をしていると、留学生や海外からの引率の先生方をお茶にお迎えすることがあります。そんな時には茶道を通して日本文化をお伝えできる喜びを改めて強く感じるものです。お茶碗から焼き物について学んだり、竹で作る茶杓や茶筌からおもてなしの心を感じたり、禅語から先人の知恵を受け取ったり、そこには長い歴史の中で生まれた文化がぎっしりとつまっています。

作家の森下 典子さんは「日日是好日」の中で、“世の中には、「すぐわかるもの」と「すぐわからないもの」の二種類がある。すぐわかるものは、一度通り過ぎればそれでいい。けれど、すぐにわからないものは、何度か行ったり来たりするうちに、後になってすこしずつじわじわとわかりだし、「別のもの」に変わっていく。そしてわかるたびに、自分が見ていたのは、全体の中のほんの断片にすぎなかったことに気づく。”と語っています。私達が日々経験することはその時は点でしかないものです。しかし、森下さんが言うように、それがやがて線となり、多くのものや人と繋がり、道が出来ていくのかもしれない。

グローバルビューもまた、人と出会い、文化を知るという点で始まり、やがて振り返るとそれが自分の人生の主軸となっているよう、その始まりの一点となれることを願います。

仙台白百合学園のグローバル教育の歩み

(学園の保護の聖人 聖パウロの言葉) **すべての人に対して、すべてとなる**—コリントの信徒への手紙 I 9:22

17世紀末、ルイ王朝の華やかさの陰にあって、一般民衆は生活に困窮していました。その頃、パリ郊外シャルトルの寒村ルヴェヴィルに赴任したルイ・ショーヴェ神父様の呼びかけに応えた少女たちによって「シャルトル聖パウロ修道女会」が結成されました。以来、ヨーロッパ諸国、アジア、アフリカ、アメリカ大陸へと宣教の場は広げられ、現在5大陸36カ国で、4000人以上の修道女が教会での司牧、福祉、医療、教育などの活動に従事しています。白百合学園では、聖書の教えに基づき、愛の心をもって人類社会に奉仕できる女性の育成を目指しています。

1986年(昭和61) 海外語学研修開始

「時代の要求に応じ、国際的視野から日本をよりよく理解できる女性の育成」を目標に掲げ、ボランティア活動をする家庭に滞在し、生きた英語を学ぶというプログラムであった。

1994年(平成6) 韓国語開講とソウルの姉妹校訪問

生活にゆとりを取り戻し、豊かな心をもって自ら思索する生徒の育成などを目的に、完全週五日制が実施されると、前年度より開設されたフランス語の授業に加え、韓国語が開講された。「本当の国際化は、一番近い国のことを知ることであり」という理念に基づくものであった。その5年後には韓国語選択者を対象に、ソウルの姉妹校啓星女子高等学校訪問が実現した。

1999年（平成11年）

フィリピンの St. Paul University Quezon City より生徒 11 名、引率教師 2 名が来校。真の国際理解教育とは何かが問われている中で、語学研修などで海外に生徒を送り出すだけでなく、迎える側になり、いろいろ体験することも必要と考えられた。2004 年（平成 16）より、St. Paul College Pasig の協力のもと、ボランティアスタディーツアーが実現した。

2011年（平成23年）

東日本大震災後、ポーランド・クラクフのサンスター日本語学校より、お見舞いのお手紙が届く。翌年、兵頭博校長先生が来校。2013 年 3 月、第 1 回ポーランド友好訪問が行われる。日本側も、ポーランドからの短期と長期（3 ヶ月）の留学生を受け入れてきた。文通による交流も続いている。

第 3 回 ポーランド友好訪問

3 月 18 日(土)～4 月 1 日(土)



引率教諭 山田 定道（理科科）「空は繋がっている」

「つらくなったら、空を見上げてみてください。何千キロも離れていても、私たちはつながっています。」

お別れパーティーの席上、兵頭先生が最後に話した言葉に、私たち第 3 回友好訪問団のメンバー全員が、感動で涙を流した瞬間だった。

今回の旅から既にか一月以上経過した。ポーランドでのいろいろな場面が私の心の中でとめどなく流れ続けている。ワルシャワの空の色と再構築された建物群、そして石畳を歩く靴の音、クラクフの喧騒の中にも落ち着きのある古い建物と時折聞こえてくる鐘の音。アウシュビッツの

暗い空の下の人間の尊厳と狂気。

今回の第 3 回ポーランド友好訪問は、最初から最後までクラクフで日本語学校を運営している兵頭校長先生のご尽力と、そこに集う学生の方々の心のこもったおもてなしの心、そして何よりもポーランドの国民性に尽きると感じている。

東日本大震災をきっかけに始まったこの友好関係、日本（本校）とポーランド（クラクフ）との繋がりを絶やしてはいけないとつくづく思い知らされた旅であった。

参加者 高校Ⅲ年 3 組 砂川 奈緒さん「ポーランド友好訪問に参加して」

私にとって 3 回目となる海外研修は実り多くとても充実した 2 週間となりました。ホストファミリーの方たちがとても親切だったのですぐのうちとけることができましたと思います。日本語を始めて間もないホストシスターが辞書で調べて日本語で話したり、私の拙い英語を聞き取ったり、私のために他にもたくさん尽くしてくれて本当に感謝しています。

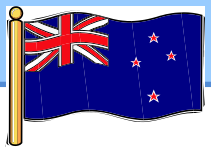


私は 2 週間でポーランド人の人柄の良さを実感しました。ホストファミリーはもちろん、どの店の方々にも優しく接していただき、また、バスやトラム内では高齢者の方に席を譲っている人を見かけ、日本人と似てポーランド人は優しさに溢れていると感じました。なにより、兵頭先生をはじめ、サンスター日本語学校の皆さんがたくさん準備して私たちを歓迎してくださり、私たちが経験した東日本大震災の発表の際も真剣な眼差しで聞く様子に、遠く離れたポーランドでこれほど私たちを心配している人達がいることに感動を覚えました。

そして、日本では見ることが出来ない街並みや壮大なミサに参列できたこと、城に泊まったりオペラ座でシンデレラを鑑賞したり、生きてい中でこんなにも贅沢なプログラムで訪問できたのは、一生の思い出に残る体験でした。ポーランドという国の良さを知らない人がまだまだたくさんいます。そんな周りの人たちにポーランドの良さをたくさん伝えていきます!!! この訪問での学びを無駄にせず、これからの自分に生かせるように…

このポーランド研修を支えてくださった全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。





今回 17 回目となる研修に中学 2 年生 18 名が参加しました。ニュージーランドは、人権や自由を尊重することから、安全で平和な国とされています。政治的にも安定しており、1997 年には初の女性首相が誕生しました。ニュージーランド教育省によると、2013 年以降留学生の数は上昇しており、2015 年には 12 万 3,366 人が留学生を受け入れ、そのうち 1 万 489 人を日本人が占めています。

現在、本校では、ニュージーランドのセレナ・ダンカンさんを留学生として 1 年間お迎えしています。

引率教諭 佐藤 かな (芸術科) 「ニュージーランド、ロトルアの人々に感謝して」

3 月 18 日~30 日、中学校 2 年生 18 名は、ニュージーランド研修に参加しました。ニュージーランドに到着した私たちを待っていたのは強い日差しと広がる青空、真っ白な雲。青々とした草原。私たちが訪れたロトルアの町は、先住民マオリ族の文化を大切に継承している町でした。

研修中はとても充実したプログラムを過ごしました。語学学校 RELA での授業、地元のマオリ族のカワハポイント小学校でのプロジェクトワーク、カトリック校であるジョンポールカレッジでの授業体験。その他にも、市街地の観光やマオリ・ヴィレッジのテ・パイヤを訪れたり、牧場を訪れたり…たくさんの経験を積むことができたのは穏やかなロトルアの町の方々の暖かな心配りのおかげです。

14 年に渡り私たちの学校を受け入れてくださっている RELA の先生方やスタッフの皆さん。そして何よりホームステイ先での経験は、一人ひとりに大きな実りを与えてくれました。朝、登校するたび口々に話すホームステイ先での様子。昨日より話が弾んだ！好きな食べ物を伝えたら毎回出してくれる！今日は学校の後に出かけるんだ！など、日に日に取れるようになってきたコミュニケーションを喜び、感謝の気持ちを口にする生徒たち。大変だったこともあるけれど、帰るころにはホストファミリーと離れるのはさびしい、まだニュージーランドに居たい、という声も上がりました。

今回、英語でうまく気持ちを表現できなかったもどかしさは、今後の英語力の向上に。ホームステイ先で苦労した文化の違いは視野を広げるきっかけに。家族と離れて過ごした寂しさは、日本の家族への感謝に。大好きになったニュージーランドの思い出は、ホストファミリーへの感謝と、共に研修を過ごした友人たちとの共有に。それぞれが、心にもった新たな決意と共に日本に戻り、無事に研修を終えることができました。

参加者 中学 3 年 1 組 熱海 由夏さん「ニュージーランド研修に参加して」

私は今回のニュージーランド研修がとても大きな糧となりました。私がこの研修に参加しようと考え始めたきっかけは、小学生の頃に経験した、オーストラリア研修での楽しかった思い出と悔しかった思い出があったからでしたが、ニュージーランド研修では、小学校の頃とは違い、もっともっと求められるものが増えました。例えばプロジェクトワーク。日本語では言えても英語では伝えられない、意味は分かるけど説明はできない、など話し合いの時点で何度も壁に当たり、とても苦労しました。でも実際、現地のカワハポイント小学校の子ども達は、私たちのカタコトな英語を真剣に理解しようとしてくれ、とても感激しました。また、その場で時間が余ってしまった時は、急遽、日本のことについての質問の時間を作ったりと、グループのメンバーでとても短い時間の中で話し合ったりしたことも今となっては良い思い出、そして経験になったと思います。

また、ホームステイ先のご家族の方は、本当に親切で優しく、会話を交わせた時の喜びや、自分の英語が伝わった時の気持ちは何にも変えがたい幸せな時間でした。私がお世話になったファミリーには男の子の赤ちゃんが一人いました。まだ、7ヶ



月だと聞き、何か私に家のことでお手伝いできることはないかと日々考えながらなるべくたくさんのお手伝いをしました。その度に言われる“Thank you”は、私の中で毎日のエネルギーに代わるものでした。

2 週間という短い間ではありましたが、私のことを家族として見てくれたホストファミリー、また、つらいとき慰め合った友人、現地出会ったたくさんの新しい友達、そして何より私のことをニュージーランド研修に参加させてくれた両親に心からのありがとうを伝えたいです。

この研修で、私はまた海外への興味、英語への関心を高める第一歩を踏み出したのだと思います。



こんにちは。私は今 Canada の Saskatoon に留学しています。Saskatoon に来て、もう3ヶ月が過ぎようとしています。

私は E.D.Feehan Catholic High School に通っています。全校生徒が600人程の規模で、いろいろな国から移住してきた人たちがたくさん学んでいる学校です。私は、学校で Math, EAL, English, GYM, Drama を取っています。私の学校は、毎日同じ時間割になっていて、同じ科目を取っている子と本当に仲良くなれます。友達と話していると楽しいし、何よりたくさん学びがあります。最初は、何を言っているのかわからなくて、学校に行くのが嫌でしたが、今は学校に行くのがとても楽しいです。

先日、サッカークラブに入りました。こちらでは、トライアウト（適正検査）からやるので本格的で最初は驚きました。クラブでもたくさんの友達ができて毎日が楽しいです。

ホストファミリーは、とってもいい方です。Calgary, Regina, Moose jaw に連れて行ってもらいました。たくさんの旅行ができて嬉しいです。また、本当の家族のように接してくれるので、とても心地がいいです。

留学に来てからまだ少ししか経っていませんが、本当に楽しいし、もう日本に帰ることが想像できません。私は、中学校の頃に New Zealand 研修に参加しなかったら、こんな楽しいことはなかったと思います。あの研修が終わったあとに、さらに海外に興味をもち、英語を話せるようになりたいと強く感じるようになりました。あの経験ができて本当に良かったです。残り約7ヶ月しかありませんが、自分の英語力をもっと伸ばせるように、日々頑張りたいと思います。



Lunch time



Calgary zoo



St. Patrick's Day



GYM class

今年度の国際教育部主催の主な行事

- 5月25日(木) LE 留学説明会 (併設中生対象)
- 7月31日(月)～4日(金) The Summer Sunflower English Camp (中学生対象)
- 9月7日(木) フィリピンボランティアスタディーツアー説明会 (高校 I II 年 LI コース対象)
- 9月8日(金) ニュージーランド研修説明会 (中学2年生対象)
- 10月12日(木) 留学説明会 (中3・高 I LI・LS コース対象)
- 12月9日(土) LE 帰国報告会 ～帰国直後の LE の生徒からの報告～
- 1月4日(木)～13日(土) フィリピンボランティアスタディーツアー
- 3月21日(水)～4月2日(月) ニュージーランド研修